

町長コラム

子どもの脳の成長
～身近な大人で支え合う～



鈴木 勝

近年、自分が死刑になりたいからと無差別に人を殺したりアルバイトと称し白昼に堂々と窃盗を犯したりするなど、私たちが子どもの頃には考えもしないような事件が多発している。

ラッセルという哲学者が、「将来、人間は情報過多となり、競争社会の中で自分の身を滅ぼすだろう」と90年前の著書で予測している。

ある新聞に、子どもの脳の成長に関する記事が掲載されていた。前頭前野が感情のコントロールを司り、完全に機能するのに25年以上かかるという。前頭前野が未成熟な子どもの頃は、ネット空間に居心地の良さを感じると、脳に快楽をもたらす「報酬系」と呼ばれる神経回路が活発化し、偏った情報ばかり集めるようになってしまう恐れがある。

また、脳は「シナプス」を介してネットワーク化され、脳の成熟とともに減少し、情報を効率よく引き出せるようになるが、誤った情報ばかりに触れると、誤った記憶が定着する危険もあるという。

子どもの成長段階は、身近な大人がしっかりと関わる必要があるのではないかと考える。

「水道修理〇円～」に騙されないで！

「トイレの詰まり」「蛇口の水漏れ」等、突然発生する水のトラブル。インターネットやポストに投函されたチラシやマグネット等の「水道修理〇円～」の広告を見て頼んだら、想定外の高額料金を請求され、支払わされるトラブルが増えています。又、鍵や害虫のレスキューサービスも同様のトラブルが多く、注意が必要です。

事例

トイレが詰まり、ネット検索で一番上にある業者の広告「水道修理980円～」を見て頼んだ。高圧ポンプの作業で直らず「便器を外し排水管を確認する。5万円だ」といわれ了承した。便器は外され更に25万円を請求された。断われず、言われるまま30万円を支払ってしまった。

消費生活センターからのアドバイス

- ① 広告の料金で作業できるとは限りません。最初に電話で作業内容と追加料金が無いか確認しましょう。
- ② 想定外の作業の提案は、きっぱり断りましょう。
- ③ 想定外の料金は、その場での支払いを断りましょう。
- ④ 予め信頼できる修理業者を探しておきましょう。

日頃の備えが大切です。クーリングオフが可能な場合もあります。不安を感じたり、実際に被害に遭ったら消費生活センターにご相談ください。

ひとりで悩まず すぐ相談！

消費者ホットライン

188 局番なし

松伏町消費生活センター

又は ☎984-7208

人権

それは愛

「電車の中でせきをゆずったら」

問合せ

教育文化振興課 ☎991-1873

企画財政課 ☎991-1815

わたしはお友だちの家にあそびに行く時に、家ぞくで電車にのりました。それは幼稚園の時のことで、東京まで行ったのでおかつたです。

電車の中は、すごくこんでいました。電車の中でよこをふりむくと、にもつをもって大へんそうな八十さくらいのおばあさんがいました。わたしはうんよくすわれましたが、おばあさんがかわいそうでした。

せきをゆずろうと思いましたが、人に声をかけるのがさいしょは、はずかしかったのでゆずってあげられませんでした。でも、ゆうきを出して、「いす、すわりますか。」と聞いたら、「いいのかい。」と、聞いてきました。「いいですよ。」と、わたしは言いました。

そのおばあさんはニコッとしながらすわっていました。

おばあさんにせきをゆずったのでわたしはすわるせきがなくなりました。そのまま一時間くらい立っただけでした。少しかれました。

でも、いいことが出来てうれしかったです。うれしい気持ちが心の中に広がり、あまりつかれをかんじませんでした。

わたしは、お母さんのところに行ってぼうにつかりました。

お母さんを見ると、お母さんはニコツとしていました。お母さんがなぜわらったのかは多分わたしがせきをゆずってあげたからだと思います。

わたしはこれからも電車の中でせきをゆずったり、けがをした子をたすけるなどやさしいことをしたいです。

人権作文集「こころ」より